

1 市民文化系施設

(1) 施設の概要

市民文化系施設は、集会施設と文化施設からなります。

本市の集会施設は地域振興会ごとにあるコミュニティセンター27施設が分散して立地しているほか、中央公民館1施設、生涯学習施設2施設、その他集会施設4施設の計34施設あります。また、文化施設は3施設あり、新湊地区、小杉地区、大門地区にそれぞれ1施設ずつ立地しています。

平成27年4月1日現在

施設分類	施設数	No.	施設名	所有状況	管理形態	代表建築年度	経過年数	耐震補強	総延床面積(m ²)	代表建物構造
コミュニティセンター(27施設)									24,898.98	
集会施設	34施設	1	放生津コミュニティセンター	市有	指定管理	H09	18	不要	1,393.14	RC
		2	新湊コミュニティセンター	市有	指定管理	H05	22	不要	863.79	RC
		3	庄西コミュニティセンター	市有	市直営	H24	3	不要	957.01	S
		4	作道コミュニティセンター	市有	市直営	S52	38	未	594.45	RC
		5	片ロコミュニティセンター	市有	市直営	H26	1	不要	845.93	S
		6	堀岡コミュニティセンター	市有	市直営	S46	44	未	1,143.97	RC
		7	海老江コミュニティセンター	市有	指定管理	H13	14	不要	652.54	RC
		8	七美コミュニティセンター	市有	指定管理	S54	36	未	493.41	RC
		9	本江コミュニティセンター	市有	指定管理	S52	38	未	436.51	RC
		10	塚原コミュニティセンター	市有	指定管理	H21	6	不要	671.49	S
		11	三ヶコミュニティセンター	市有	指定管理	S61	29	不要	757.30	RC
		12	戸破コミュニティセンター	市有	指定管理	S63	27	不要	740.03	RC
		13	橋下条コミュニティセンター	市有	指定管理	H15	12	不要	984.01	W
		14	金山コミュニティセンター	市有	指定管理	S62	28	不要	637.94	RC
		15	大江コミュニティセンター	市有	指定管理	H17	10	不要	1,057.04	W
		16	黒河コミュニティセンター	市有	指定管理	H16	11	不要	1,099.98	SRC
		17	池多コミュニティセンター	市有	指定管理	S57	33	不要	778.13	SRC
		18	太閤山コミュニティセンター	市有	市直営	H23	4	不要	1,048.35	S
		19	中太閤山コミュニティセンター	市有	指定管理	S57	33	不要	739.15	RC
		20	南太閤山コミュニティセンター	市有	指定管理	H02	25	不要	941.50	RC
		21	浅井コミュニティセンター	市有	指定管理	H18	9	不要	1,837.65	S
		22	楠田コミュニティセンター	市有	指定管理	H17	10	不要	1,786.60	S
		23	水戸田コミュニティセンター	市有	市直営	S54 (H25改修)	36 (2)	済	970.07	SRC
		24	二ロコミュニティセンター	市有	指定管理	S55 (H22改修)	35 (5)	済	796.09	RC
		25	大門コミュニティセンター	市有	市直営	S62	28	不要	72.00	SRC
		26	大島コミュニティセンター	市有	指定管理	S44	46	未	1,139.35	RC
		27	下村コミュニティセンター	市有	指定管理	S56	34	未	1,461.55	RC
公民館(1施設)									2,088.96	
		28	中央公民館	市有	指定管理	S56 (H20改修)	34 (7)	済	2,088.96	SRC
生涯学習施設(2施設)									1,443.66	
		29	小杉勤労青少年ホーム	市有	指定管理	S54	36	未	797.00	RC
		30	働く婦人の家	市有	指定管理	S58	32	不要	646.66	RC
その他集会施設(4施設)									765.78	
		31	新湊ふれあい会館	市有	市直営	H03	24	不要	516.54	S
		32	大島エントランス広場	市有	市直営	—	—	—	—	—
		33	庄川水辺の交流館	市有	市民協働	H19	8	不要	236.00	S
		34	下村交流センター	市有	市直営	H14	13	不要	13.24	W
小計									29,197.38	
文化施設	3施設	1	新湊中央文化会館	市有	指定管理	S56 (H20改修)	34 (7)	済	7,868.95	SRC
		2	小杉文化ホール	市有	指定管理	H05	22	不要	5,714.32	RC
		3	大門総合会館	市有	指定管理	S62	28	不要	5,582.14	SRC
小計									19,165.41	
合計									48,362.79	

構造凡例 S:鉄骨造,RC:鉄筋コンクリート造,SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造,W:木造

小杉勤労青少年ホーム、働く婦人の家は平成27年度で廃止
 平成28年度から働く婦人の家を「生涯学習センター」へ転用
 新湊ふれあい会館は地域移管のため平成27年度末で廃止し、普通財産へ変更

(2) 施設の現状と個別の基本的な考え方

1) 集会施設

施設の現状

集会施設

コミュニティセンター

建物状況

- ・現在、計画的にコミュニティセンターの改築、大規模改修を進めていますが、全 27 施設中、大規模改修済みのものを除く 8 施設が築 30 年以上と老朽化しており、その内 6 施設で耐震安全性が確保されていない状況です。

利用・運営状況

- ・コミュニティセンターは、市民が主体的なまちづくりを行うための拠点施設であり、地域の特色に応じた主体的な管理運営が必要であることから、原則、各地区の地域振興会が指定管理者として運営しています。

コスト状況

- ・各コミュニティセンターには、地域振興活動に必要な会議室、多目的室、調理実習室、児童室等を設けることとして、標準規模に地域事情を考慮して整備しています。
- ・利用者一人当たりコストを比較した場合、地域人口の規模にもよりますが、0.25 千円～1.72 千円と約 1.5 千円もの差が生じていることから、比較的用户数の少ない施設においては、利用者数の増加に向けて、地域のニーズを施設運営に反映させていく必要があります。

公民館

建物状況

- ・昭和 56 年度に建設した新湊中央文化会館の施設内施設として設置されていますが、平成 20 年度に大規模改修を行っており、現在 7 年が経過しています。

利用・運営状況

- ・指定管理者制度を導入し、民間の手法を用いて、弾力性や柔軟性のある施設の運営を行うとともに、運営経費の削減に努めています。
- ・平成 26 年度の年間開館日数 347 日に対し、年間利用者は 18,557 人であり、1 日平均利用者が 55 人程度と、充実した施設内容に対して利用者が少ないと思われます。また、利用目的は地域やサークル活動等の団体活動がほとんどであり、利用者の固定化が推定されます。

コスト状況

- ・平成 26 年度実績では、全体利用件数の 68.6%が減免扱いとなっており、受益と負担の適正化を検討する必要があります。

基本的な考え方

集会施設	
将来のあるべき姿	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターは、従来の機能に加え、子育て支援・高齢者福祉等のサービス提供の場としても利用され、市民の利便性が高まり、地域のまちづくりの核として重層的に活用されています。 ・生涯学習施設は、機能統合・複合化され、効果的に市民の学びの場を提供しています。 	
個別の基本的な考え方	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターは、市民が主体的なまちづくりを行うための総合的な拠点施設として、利用度を高めながら、存続します。 ・「中央公民館」は、大規模改修後、指定管理者制度を導入し、効率的な管理運営に努めていますが、今後も受益と負担の適正化を検討していきます。 ・生涯学習施設は、平成 27 年度末で「働く婦人の家」と「小杉勤労青少年ホーム」を廃止し、平成 28 年度から「働く婦人の家」の建物を新たに「生涯学習センター」とし、当面、市民の生涯学習活動に資する施設として活用していきます。また、施設の老朽化を踏まえ、周辺施設への複合化・多機能化による活動の場を検討していきます。 ・その他施設のうち、「新湊ふれあい会館」は、平成 27 年度末で廃止し、地域へ移管しています。「庄川水辺の交流館」は、平成 27 年度から市民協働事業として地域振興会に管理を移管しています。 ・存続施設は、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。 ・未耐震施設については、引き続き耐震化を推進します。 	

施設分類名	現在保有面積 (H27.4.1 現在)	削減想定面積 (40 年間)
集会施設	29,197 m ²	4,000 m ² (14%程度)

2) 文化施設 施設の現状

文化施設

建物状況

- ・新湊中央文化会館は、平成 20 年に大規模改修を行い、現在 7 年が経過しています。その他の施設は築 20 年以上が経過していますが、耐震安全性は確保されています。
- ・新湊中央文化会館は、射水市中央公民館と新湊図書館が併設されている複合施設です。
- ・大門総合会館は、金融機関が区分所有しているほか、大門コミュニティセンター、正力図書館、正力・小林記念館が併設されている複合施設となっています。
- ・小杉文化ホールは、単館施設ですが、研修室、練習室を備えています。
- ・上記のほか、射水市大島絵本館にホール（200 席）を有しています。

利用・運営状況

- ・3 施設ともに研修室、会議室の利用率は高いものの、ホールの利用率は 13.5% から 59.5% となっており、年間開館日の半分近くが全く利用されていないため、明らかに供給力が過大な状況です。

コスト状況

- ・3 施設すべてに指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを生かして効率的な施設管理に努めていますが、運営に必要である事業の委託料を含めた指定管理料としていたため、多額になっています。
- ・全ての施設が 5,000 m²以上と大型施設であるため、ほぼ同額で減価償却費が大きく、建替え・更新コストは多額になります。またホールは、音響設備や照明設備を有していることから、維持管理コストが多額となっています。

基本的な考え方

文化施設	
将来のあるべき姿	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホール施設は、本市に見合った規模となるよう集約・統廃合され、効率的な管理運営が行われているとともに、市民が芸術文化に親しむ場として維持されています。 	
個別の基本的な考え方	
<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な 1 市 1 館の基本的考え方に立脚した目標年次までの集約化に向け、市民ニーズに見合ったホールや研修室の規模となるよう、広域的利活用の推進など、段階を踏んだ各種条件整備に努めます。 ・存続施設は、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。 	

施設分類名	現在保有面積 (H27.4.1 現在)	削減想定面積 (40 年間)
文化施設	19,165 m ²	3,800 m ² (20%程度)